

No.	本の名称	値段	発行年	ページ数	サイズ	重さ	内容	販売状況
郷土博物館・文学館 図録								
2	駿河の岩村藩	¥ 300	1988	36	B5	118 g	第1回企画展図録。市内の横内には美濃国岩村藩の領地があり、陣屋がおかれていた。岩村町をはじめ旧領地内に残された資料を紹介している。	
5	志太の木喰仏	¥ 300	1988	44	B5	154 g	開館1周年特別展記録。83歳の生涯を日本廻国と千体仏彫刻に明け暮れた木喰は、志太地域に12体の仏像を残している。その仏像はどれも傑作で、円熟期の傑作である。本書では木喰の足跡と彫刻の意図を明らかにしている。	
7	戦時中のくらし	¥ 300	1989	24	B5	88 g	昭和の時代が終わり、戦争時の生活体験を物語る資料は急速に姿を消している。戦争を知らない世代に正しく、その実態を伝えるために企画展を開催した。	
8	鍛冶と郷土刀	¥ 300	1990	34	B5	136 g	志太地区には、駿州島田鍛冶をはじめ藤枝宿の「重信」などの刀鍛冶があつて、古くから刀剣づくりが行われていた。郷土刀の系譜から日本刀の制作工程までを紹介している。	
9	沖六鵬と藤枝	¥ 300	1989	30	B5	114 g	沖六鵬は我が国書道界屈指の芸術家で、その端麗な書風は今なお高く評価されている。幼少のころ藤枝で育った六鵬。郷土の文化を担った人物の作品や資料を紹介する。	
12	藤枝の文学	¥ 300	1991	40	B5	136 g	東海道のとて早くから開けた藤枝。古代から近世に至る写本や刊本から「藤枝にかかわる文学作品」を集めてみた。江戸時代後期に全盛をむかえた浮世絵版画の中から藤枝の風景も紹介。	
13	若王子・釣瓶落古墳群	¥ 300	1983	24	B5	86 g	昭和56年と57年に発掘調査を行った若王子・釣瓶落古墳群から、志太地域の古式古墳群についての資料が相次いで発見され、学術的にも大きな成果を収めることができた。この本で概要を報告する。	
14	小野鶯堂	¥ 300	1999	46	B5	160 g	小野鶯堂は文久2年、田中藩の武道師範の家に生まれ、藤枝で育った。青年時代から書道に励み、遂に漢字と仮名を調和させた独自の書風「鶯堂流」を完成させた。年譜と作品を紹介。	
16	瀬戸川水生生物	¥ 300	1992	50	B6	80 g	瀬戸川水系に生息する淡水系生物を知るためのポケット図鑑。その種類や特性、分布状況などを学ぶため、瀬戸川の上・中・下流・小川や池などの自然環境を紹介。フィールドワークのお供に。	
17	藤枝市伝説集	¥ 410	1978	46	B5	166 g	郷土藤枝の伝説を江戸時代の史料や近代の町村誌類からさがし出し、原文のまま集めた基礎的な資料集。旧藤枝市の9つの地区ごとに伝説を収録してある。	
18	田中城内屋敷間取図	¥ 510	1991	-	A4	124 g	江戸時代末期、田中藩の作事役所の役人を務めた藤井家に伝わるもので、城内全図としての本図と、清水御殿のみを描いた別図の2枚からなる。	
19	藤枝の歴史	¥ 820	1987	62	B5	226 g	藤枝市郷土博物館常設展示の解説書。原始から現代まで「藤枝の歴史」を写真と文章で分かりやすく解説。	
20	駿河国田中城絵図資料	¥ 510	1987	1	977*784	136 g	市指定有形文化財「田中城絵図」。江戸時。昭和35年7月18日指定。縦247cm×横197cm 輪装 藤枝市郷土博物館蔵。田中城とその周辺地域が描かれた大判の彩色城絵図。解説付き。	
21	藤枝の古絵図資料	¥ 510	1988	3	-	94 g	「駿州志太郡土瑞村高柳村河原評論載許絵図」「駿州志太郡水上村瀬戸村瀬戸新屋村株場論載許絵図」「駿州益津郡平嶋村志太郡上日間村堰水論載許絵図」の3枚と解説書(B5判 6ページ)	
22	刀剣展	¥ 510	1992	44	B5	198 g	「伝来や所持者の明らかな刀剣類」「資料的に貴重な郷土刀」を紹介。島田鍛冶や藤枝鍛冶など作刀の歴史について知ることができる。	
23	藤枝の年中行事	¥ 510	1993	32	B5	110 g	年中行事は、古くから家族の生活の中に溶け込んだものや地域をあげて行うものなどがあつたが、生活の変化により失われていったものがたくさんある。復元したものを含め月ごとに紹介。	
24	図録「平井顕斎」	¥ 510	1994	34	B5	116 g	現在の牧之原市に生まれた「平井顕斎」は、渡辺華山の十哲の一人に数えられ、藤枝宿の漢詩人や画人とも密接な交友関係を結んでいた。企画展では平井顕斎の作品の変遷がたどれるよう資料を掲載。	
25	図録「山水画と花鳥画」	¥ 510	1993	34	B5	118 g	志太・榛原地域は東海道の面し古くから多くの文化人が往來した。江戸時代から昭和にかけて活躍した郷土の画人23人を選び作品60点を紹介。大塚荷深・平井顕斎・久保井華蛙・青島肇秀など	
26	図録「加藤まさを」	¥ 820	1992	36	B5	122 g	童謡「月の沙漠」の作詞者・加藤まさをは藤枝市の出身。大正から昭和にかけて叙情画家として、また、詩人として活躍した加藤まさをに焦点をあて紹介している。	
27	軽便鉄道(改定第7版)	¥ 1,020	2013	68	B5	230 g	大正2年から昭和45年まで営業し、戦後には藤枝大手から袋井を結んで日本一長い軽便鉄道となった静岡鉄道駿遠線。大手駅～地頭片駅の旧藤枝鉄道区間に中心に、なつかしい写真を豊富に収録し、在りし日の軽便を振り返ることができる写真集。巻末には路線図・藤枝鉄道唱歌・当時の新聞記事などの関係資料も掲載。	売切御礼
29	志太郡街出土の文字資料(普及版)	¥ 1,020	1982	48	B5	230 g	昭和52年に発見、55年に国の史跡に指定された志太郡街跡。出土した多数の文字資料を中心に、志太郡街跡の概要と調査研究の成果をまとめた。遺構・出土遺物・木簡と墨書土器・資料からみた志太平野からなる。	
32	東海道の名所と名物	¥ 1,020	1995	47	A4	301 g	江戸時代中ごろ、人々の旅への関心が急に高まって、道中案内書で「名所や名物」が盛んに紹介された。本書は尾張藩の武士・高力権信が描いた「東海便覧図略」により蒲原宿から掛川宿までの景勝地や特産品を紹介した。	
34	田中城復元図(塗り絵用)	¥ 200	1996	1	B3	44 g	田中城は四重の堀に囲まれた同心円形をした城で、亀城・亀甲城と呼ばれていた。塗り絵することでその形を知っていただく。田中城復元図は「駿河田中城絵図」「田中亀城之図」「田中城内外之図」など江戸時代後期に描かれた図を参考にした。(解説付き)	
35	田中城下絵(塗り絵用)	¥ 300	1996	1	B1	80 g	この図は、市指定「駿河国田中城絵図」から輪郭線を書して縮小したもの。本紙は、和紙を継いだ大きなもので、城の縄張りを中心に武家屋敷、町屋、寺、街道、道筋、田畑、池、川などを描いており、田中城の特色がよく表現されている。(解説付き)	
36	田中城絵図	¥ 1,230	1996	74	A4	436 g	今川、武田、豊臣、徳川と整備されていった田中城変遷の姿を「絵図」でたどる。田中城は円形の縄張りを持つ城の典型として、城郭史の上からでも重要視されている。また、諸藩の兵学者等によって写された絵図と比較検討されている。	
37	名刀と刀装具	¥ 1,230	1998	75	A4	434 g	財団法人日本美術刀剣保存会静岡支部の協力で開催した特別展「名刀と刀装具」の図録。平安時代から江戸末期まで時代によって変化する特徴が分かる。島田鍛冶・藤枝鍛冶についても記述。	
38	久保井華蛙	¥ 1,020	1999	47	A4	296 g	静岡県はかつて遠江と呼ばれた地域を中心に絵画の盛んな土地だった。江戸時代の藤枝宿に生まれ、画家を志して上京し、明治・大正時代に活躍した久保井華蛙に焦点をあてて紹介している。	
40	かえてきたコンポート	¥ 1,020	1999	63	A4	376 g	明治時代から大正時代に作られ、主にアジア地域へと輸出されたコンポート。忘れ去られていた日本製ガラス器の里帰り品の歴史と美を紹介。	
41	志太の大絵馬	¥ 300	1999	32	A4	182 g	志太地域に残された絵馬を取り上げ、絵馬の歴史、伝説と絵馬、田中藩ゆかりの大絵馬、戦争絵馬、近代の旅と参拝記念絵馬、町の絵師松嶋辰造と絵馬、航海安全の船絵馬、小絵馬にみる様々な折りの8つのテーマで紹介。	
42	志太の雛人形	¥ 200	2000	16	A4	92 g	志太地域独自のものとされる「衣装着天神」に焦点を当て、類型といえる「練天神」や明治前期の素朴な「ピロッド天神」など、当地に伝え残された雛人形を紹介する。	
44	駿河の武田氏	¥ 1,020	2000	69	A4	428 g	武田氏が駿河を領有した14年間は、駿河侵攻、家康との三方ヶ原の戦、信玄の死去による勝頼への政権交代、長篠の戦での大敗と、領地の拡大から急激に滅亡へと向かった時期であった。	
46	大塚荷深と藤枝宿の文人たち	¥ 820	2001	56	A4	376 g	藤枝宿の画家として知られる大塚荷深は、漢詩の結社をつくり文化文政期の西駿地域の文化人をリードしました。大塚荷深の画業と文人たちの交流などを紹介。	
48	文房古玩	¥ 820	2002	46	A4	324 g	硯・注水具・文立・筆筒など、文房具は種類が多く素材も豊富で、奥が深いものです。現代の密着者も好む江戸期の文房具を紹介。	
117	さまざまな絵画 江戸時代後半の駿遠画界	¥ 510	2003	49	A4	348 g	江戸時代後半に志太地域と遠州地方(東部/中部)で活躍した、様々な流派の画家やその作品について紹介。	
132	動くからくりおもちゃ	¥ 510	2007	44	B5変形	132 g	第74回企画展「動くからくりおもちゃ」展示図録。日本人の知恵と工夫が詰まった伝統的な郷土玩具のからくりおもちゃを紹介している。あわせて、ユーモラスな外国のからくり玩具も紹介。	
135	藤枝市文学館開館記念展示解説図録 小川国夫文学展『アポロンの島』から50年 藤枝の文学ー藤枝ゆかりの文学者たちー	¥ 820	2007	61	A4	354 g	藤枝生まれ藤枝育ちの「枝っこ」(えだっこ)作家・小川国夫をはじめ、眼科医であり作家の藤枝静男、童謡「月の沙漠」の作詞者加藤まさをなど、藤枝出身の作家・芸術家の生い立ちや作品世界を紹介。その他、中世の文学作品にみえる藤枝、田中藩の文学者、藤枝宿の文人、東海道中藤原毛と藤枝、瀬戸の染版をめぐる文学、沖六鵬、志太の文芸雑誌と小野庵保蔵などについて解説。	売切御礼
155	藤枝市の文化財2012	¥ 510	2012	46	A4	252 g	岡部町と合併以降の藤枝市の文化財を一室に集めた最新図録。新たに国指定史跡となった「東海道宇津ノ谷峠越」(とうかいどううつのやとげこえ)を詳しく紹介。文化財の基礎データ(名称・種別・指定の年月日・所在地・所有者または管理者など)と、文化財の写真カラーで掲載。	
162	藤枝の日本画家・松本高明	¥ 1,000	2014	56	A4	338 g	藤枝市出身の日本画家・松本高明氏のおよそ40年にわたる画歴を通じて描かれた作品のうち、藤枝市内の風景を題材にしたものを中心に紹介する。	

No.	本の名称	値段	発行年	ページ数	サイズ	重さ	内容	販売状況
163	東海道の浮世絵	¥ 500	2015	25	A4	118 g	浮世絵の東海道五十三次シリーズの最高傑作・初代歌川広重の「保永堂版東海道」より、静岡県内22宿の作品を図版と解説で紹介。併せて、藤枝・岡部の多様な浮世絵や、浮世絵美人画コレクションなども紹介。	売完御礼
165	徳川家康公と駿河【再版】	¥ 1,100	初版 2015	48	A4	266 g	2015年開催の特別展「徳川家康公と駿河」展示図録の第2版。大御所家康が鷹狩りではしばしば訪れ、終生愛した田中城との関わり（鷹狩り・発病と鯛の天ぷらが事件など）や、家康と藤枝宿、志太地域との関わりを紹介する。	
165	駿河を駆けた武田軍団展	¥ 900	2017	60	A4	354 g	壮年期の徳川家康を悩ませ鍛え上げた好敵手・戦国大名武田氏を取り上げた特別展の展示図録。駿河国と遠江半国を領有し、合戦に明け暮れた武田軍団の足跡を、貴重な古文書・肖像画・武器やゆかりの伝製品の数々によってたどり、武田氏の駿河侵攻・駿河支配の実態や、徳川家康との激しい攻防について紹介している。	売完御礼
166	大正ロマン展	¥ 1,000	2017	60	A4	386 g	大正時代に活躍した抒情画家で、詩人、小説家としても活躍した加藤まさをの生誕120周年、藤枝市文学館開館10周年を記念して開催された「大正ロマン展」において展示した加藤まさをゆかりの資料群を収録した展示図録。掲載資料の多くは当館が所蔵しているもので、これまでの資料収集の成果を紹介する。	
167	二つの東海道五十三次 ～江戸の広重と昭和の関野準一郎～	¥ 1,000	2017	72	A4	350 g	江戸時代を代表する浮世絵師の巨匠・歌川広重が描いた最高傑作「保永堂版東海道五十三次」と、昭和の木版画の第一人者である関野準一郎が描いた東海道五十三次を紹介した特別展の展示図録。江戸と昭和の二つの東海道五十三次の対策シリーズを合わせて紹介。	
168	静岡ゆかりの名刀	¥ 1,200	2017	76	A4	360 g	郷土博物館開館30周年記念特別展の展示図録。五ヶ伝の名刀や、島田鍛冶や高天神鍛冶をはじめとする静岡ゆかりの名刀など、特別展に展示された多くの名刀、また鐔や三所物など刀剣を彩った刀装具を高精細印刷の写真と解説で紹介。	
169	藤枝出身の日本画家 北村さゆり展	¥ 500	2021	14	B5	58g	令和3年に開催した特別展「藤枝出身の日本画家 北村さゆり展」の展示図録。北村さゆりの40年以上の画業を振り返る展覧会の様子、主な展示作品の写真で紹介し、日本画から文学作品の表紙絵・挿画まで幅広い仕事ぶりが分かる。	
170	郷土ゆかりの名刀と五ヶ伝の旅	¥ 1,000	2022	48	A4	220g	令和4年に開催した特別展「名刀展」の展示図録。①時代別名刀、②五ヶ伝の名刀、③静岡ゆかりの名工と郷土刀、④粋なデザインの刀装・刀装具の4章で構成され、写真と解説で紹介。刀剣28振と刀装・刀装具等25点を掲載。	
千支の郷土玩具図録								
47	午年の千支図録「馬の郷土玩具」	¥ 1,020	2002	52	B5変形	150 g	十二支のなかで質量ともに豊かな全国各地の馬の郷土玩具のうち、代表的な名玩具・古玩10点余を紹介した写真集。素材別・タイプ別に分類している。	
49	鳩 笛	¥ 1,020	2003	64	B5変形	178 g	江戸時代～昭和戦前に子どもの遊び道具として盛んに作られた鳩笛の写真資料集。戦前の作品や廃絶した作品を中心に全国各地の鳩笛91点とさまざまな笛玩具24点を地方別に紹介している。	
118	申年の千支図録「猿の郷土玩具」	¥ 1,020	2004	70	B5変形	198 g	「猿の郷土玩具」展の展示資料から、全国の代表的な猿の玩具や優れた名玩・古玩を厳選して約80点紹介。	
124	酉年の千支図録「鶏の郷土玩具」	¥ 1,020	2005	52	B5変形	160 g	「鶏の郷土玩具」展から彩色美しい戦前の名玩・古玩を中心に約55点を厳選して紹介。	
128	戌年の千支図録「犬の郷土玩具」	¥ 1,020	2005	72	B5変形	206 g	「犬の郷土玩具」展から犬張子・羽衣神の土人形など安産や子育ての縁起物である犬の郷土玩具を、戦前の名玩・古玩中心に約80点を厳選して紹介。	
博物館叢書								
73	叢書3「飯塚兵左衛門一代記」	¥ 510	1993	65	B5	150 g	石井家所蔵本のうち、本書は「飯塚兵左衛門一代記」巻乃巻、「同」式、「同」四巻、原文に忠実に収載することにつとめた。江戸時代・文化、文政から幕末のころの庶民の様子がよくわかる。	
74	叢書4「田中藩叢書」	¥ 1,850	1994	696	A5	1032 g	『田中藩叢書』全八篇は、郷土史家・故大塚晴氏が編集したものを、郷土博物館で復刻したもので、田中城・田中藩と藩士・藤枝宿等について記述されている。第一篇「田中英真遺蹟」、第二篇「田中藩校白知館の文武」、第七編「義民増田五郎右衛門」、第八篇「藤枝宿と瀬戸川川越」など。	
藤枝市史								
110	藤枝市史 民俗編	¥ 4,110	2002	832	A5	1496 g	藤枝市では、北部の山間地、東海道沿いのマチ、南部の平地でそれぞれ特色ある生活が古くから営まれてきた。そうしたなつかしい伝統的な暮らしぶりを豊富な写真図でわかりやすく紹介。本編・特設編・図像資料編の3部構成。	
133	藤枝市史 資料編1 考古	¥ 4,110	2006	861	A5	1450 g	県内屈指の遺跡の宝庫である藤枝の重要遺跡を発掘調査の成果にもとづいて学術的に集成した資料集です。市内の重要遺跡129項目を時代別に6章に分け、遺跡位置図・遺構図・遺物実測図を交えながら詳しく解説しています。	
114	藤枝市史 資料編2 古代・中世	¥ 3,600	2003	832	A5	1620 g	【古代の部】国指定史跡志太郡跡（御子ヶ谷遺跡）等から出土した木簡や墨書土器など市域の古代史を解明するうえで貴重な資料を紹介。【中世の部】東海道藤枝宿に関する記録や文学作品などを収録。戦国時代の田中城をめぐる今川・武田・徳川の激しい攻防を貴重な資料群から紹介。	
121	藤枝市史 資料編3 近世一	¥ 3,600	2004	908	A5	1576 g	藤枝宿の成立と構造/藤枝宿の機能と東海道交通/藤枝宿をめぐる文化/近世藤枝の領主/近世藤枝の村々/村や家の生活と信仰/新田開発と用水/諸産業と商業/災害と救済/付録『東海道藤枝宿往還家並絵図』（天保十三年）	
136	藤枝市史 資料編4 近世二	¥ 4,110	2008	846	A5	1538 g	江戸時代の田中藩に関する資料を初めて体系的に収録した資料集です。第1章 田中藩主と領主/第2章 田中藩の家臣/第3章 田中藩の学芸と武芸/第4章 田中藩の財政と改革/第5章 田中藩の民政/第6章 田中城(絵図)と諸記録。	
138	藤枝市史 資料編5 近現代	¥ 4,110	2008	926	A5	1770 g	明治時代から現在に至るまでの藤枝の近現代史を物語る資料668点を収録しています。第1章 近代国家の成立と藤枝/第2章 大正デモクラシーと藤枝/第3章 アジア・太平洋戦争と藤枝/第4章 戦後改革と藤枝/第5章 高度経済成長期の藤枝/第6章 現代の藤枝/第7章 近代藤枝の文芸	
146	藤枝市史 通史編 上(原始・古代・中世)	¥ 4,110	2010	803	A5	1488 g	旧石器時代から戦国時代までを時代を追って藤枝の歴史を誰にも読めるように分かりやすく解説。第1編 藤枝のあけぼの(旧石器時代から古墳時代まで)/第2編 古代の藤枝地域(古墳時代から奈良・平安時代まで)/第3編 中世の藤枝(鎌倉時代から戦国時代まで)/特論 なぜ藤枝かー藤枝の歴史の原像と本質	
150	藤枝市史 通史編 下(近世・近現代)	¥ 4,110	2011	892	A5	1498 g +268 g	江戸時代から平成の大合併までの420年の歴史を資料に基づいてわかりやすく解説。第4編「近世の藤枝」では藤枝宿や田中藩政を中心に叙述。第5編「近現代の藤枝」では藤枝の近代都市化と鉄道開通、戦後の高度経済成長期を中心に叙述。特別付録『東海道分間延絵図』岡部・藤枝(複製)つき	
160	図説藤枝市史【初版】	¥ 820	2013	208	A5	902 g	旧石器時代から昭和の高度経済成長期まで、厳選した90項目・27コラムを用いて藤枝市の歴史トピックスを見やすくわかりやすく紹介。30名を超す専門家が執筆し約370点の豊富なカラー図版を掲載。15年間にわたった藤枝市史編さん事業の研究成果を一般向けにわかりやすくまとめた総集編。	
164	図説藤枝市史【改定第2版】	¥ 1,200	2019	208	A5	902 g	旧石器時代から昭和の高度経済成長期まで、厳選した90項目・27コラムを用いて藤枝市の歴史トピックスを見やすくわかりやすく紹介。30名を超す専門家が執筆し約370点の豊富なカラー図版を掲載。15年間にわたった藤枝市史編さん事業の研究成果を一般向けにわかりやすくまとめた総集編。	
152	『東海道分間延絵図』藤枝・岡部(複製)	¥ 1,020	2011	20	A5	268 g	江戸時代後期に作成された重要文化財『東海道分間延絵図』のうち、宇津ノ谷峠～岡部宿～藤枝宿～上青島村間の市内の東海道部分を原資料の1/2サイズでカラー複製。折本形式・専用ケース入り。	
101	市史叢書1 稲葉村誌	¥ 1,020	2013	119	B5	322 g	大正2年に編さんされた「静岡県志太郎稲葉村誌」の復刻版 (平成10年複製の再版)	
102	市史叢書2 仏幡村誌	¥ 820	2000	94	B5	302 g	大正2年に編さんされた「志太郡仏幡村誌」の復刻版。	
103	市史叢書3 大洲村誌	¥ 1,230	2013	160	B5	398 g	大正2年に編さんされた「静岡県志太郎大洲村誌」の復刻版 (平成12年複製の再版)	
106	市史叢書4 瀬戸谷村誌	¥ 820	2001	79	B5	266 g	大正2年に編さんされた「静岡県志太郎瀬戸谷村誌」の復刻版。	
107	市史叢書5 青島村誌	¥ 1,230	2001	241	B5	660 g	大正2年に編さんされた「静岡県志太郎青島村誌」の復刻版。	
109	市史叢書6 葉梨村誌	¥ 820	2002	86	B5	310 g	大正元年に発行された「静岡県志太郎葉梨村誌」の復刻版。	在庫僅少
112	市史叢書7 西益津村誌	¥ 1,020	2003	151	B5	462 g	大正2年に発行した「静岡県志太郎西益津村誌」の復刻版。	
119	藤枝市史叢書8 「岡村伝一郎少年の日記」	¥ 1,020	2004	148	B5	344 g	明治時代の小学生の日記を復刻。明治時代末期の学校生活、家庭生活、地域の様子など当時の暮らしぶりがよくわかります。	
126	藤枝市史叢書9 藤枝町役場事務報告書(明治・大正時代編)	¥ 1,020	2005	176	B5	406 g	藤枝市が保存・管理する永年保存文書の中から「藤枝町役場事務報告書」を抜粋し、年代順に編集したもので、明治22年度から大正15年度までの分を収録してある。	
127	藤枝市史叢書10 藤枝町役場事務報告書(昭和時代編)	¥ 1,020	2006	212	B5	474 g	藤枝市が保存・管理する永年保存文書の中から「藤枝町役場事務報告書」を抜粋し、年代順に編集したもので、昭和2年度から昭和22年度までの分を収録してある。	
130	藤枝市史叢書11 近世藤枝市内検地帳	¥ 610	2007	131	B5	310 g	藤枝市内に残る江戸時代初期の検地帳の中から、4種を選び、研究資料として活字化したもの。慶長4年志太郡内瀬戸村検地帳、慶長9年志太郡内瀬戸村検地帳、慶長9年志太郡築地村検地帳、慶長9年志太郡谷稲葉村検地帳。	

No.	本の名称	値段	発行年	ページ数	サイズ	重さ	内容	販売状況
140	藤枝市史叢書12 続・藤枝町誌〈上〉	¥ 1,020	2008	234	B5	524 g	藤枝市が保存・管理する永年保存文書の中から、「藤枝町誌」として括られた文書群を活字化したもの。戦後まもなく編集され、「藤枝町誌」の続編の内容であることから『続・藤枝町誌』と仮称した。上巻として収録したのは第1～4章・7章・9章。	
144	藤枝市史叢書13 続・藤枝町誌〈下〉	¥ 1,020	2009	190	B5	468 g	藤枝市が保存・管理する永年保存文書の中から、「藤枝町誌」として括られた文書群を活字化したもの。戦後まもなく編集され、「藤枝町誌」の続編の内容であることから『続・藤枝町誌』と仮称した。下巻として収録したのは第9章学校教育、第10章宗教。	
148	藤枝市史叢書14 岡部町誌	¥ 810	2010	84	B5	232 g	岡部町は明治二十二年に岡部宿ほか一宿六か村が合併して成立。大正元年に刊行された岡部町誌では、柑橘・製茶・シダ細工など町の主産業や、岡部宿・宇津ノ谷峠・鳥の細道の歴史などを詳述。	
153	藤枝市史叢書15 朝比奈村誌	¥ 810	2011	88	B5	242 g	大正初年に編さんされた「静岡県志太郡朝比奈村誌」の複製版。巻末付録「写真で見る朝比奈・岡部のむかし」では、明治時代～昭和40年代に撮影された町並みや風景の写真を紹介。	
104	藤枝市史研究 第1号	¥ 820	2000	90	B5	206 g	市史編さん事業で専門委員や調査委員がどのような調査を行い、成果を上げているかを紹介。論文「タニシと日本人」、研究ノート「17世紀の年貢割付状とその呼称」、調査報告「藤枝市志太所在九景寺古墳調査報告」など。	
105	藤枝市史研究 第2号	¥ 820	2000	100	B5	210 g	論文「江戸時代中期における地方俳諧の位相」、研究ノート「武田・徳川両氏の攻防と城郭」、「岡部宿の謎」など。	
108	藤枝市史研究 第3号	¥ 1,020	2002	158	B5	350 g	論文「1880年前後から1890年代の通信の事情と郵便の普及」斎藤新、「万葉集「志太の浦」考」、磯部武夫 等。	
113	藤枝市史研究 第4号	¥ 1,020	2003	169	B5	354 g	鬼岩寺の中世石塔群、安楽寺の鐃口、旧町役場資料などについての報告。	
120	藤枝市史研究 第5号	¥ 1,020	2004	111	B5	244 g	近世後期駿遠地方に於ける地域金融、藤枝地域の満洲開拓移民、藤枝防空監視哨と県下の空襲などについての報告。	
125	藤枝市史研究 第6号	¥ 1,020	2005	107	B5	236 g	敗戦直後の藤枝町における食糧配給とその実態、近代藤枝の月並俳諧、鬼岩寺中世墓地出土おの焼骨、久我敦通『東国紀行』などについての報告。	
129	藤枝市史研究 第7号	¥ 1,020	2006	105	B5	230 g	東京帝国大学学徒労働員班「瀬戸谷会」について、昭和18年藤枝駅付近で起きた列車事故についての聞き取り調査など。	
131	藤枝市史研究 第8号	¥ 1,020	2007	100	B5	220 g	高田観音前二号墳の胡髭金具、駿河田中城古図からみる江戸時代初期の田中城の改修、菅原貞俊『海道くぐり』について、市内小中学校所蔵文書、近代都市藤枝の形成についての報告。	
141	藤枝市史研究 第9号	¥ 1,020	2008	105	B5	208 g	近世の田中藩と田中藩領の医師、田中藩の海防政策、志太郡関係日露戦争死没者について、名物瀬戸の茶飯をめぐる文化史、藤枝地域の古代史・自治体史の編さんと活用一についての報告。	
145	藤枝市史研究 第10号	¥ 810	2009	130	B5	284 g	大化前代における倭寇の動向、藤枝宿白子町の設置、明治四十三年瀬戸川水害の写真と図面資料、近世の高野山参拝記録、古代藤枝地域における田祖と出幸、古墳が語る藤枝の歴史・交流と独自性一	
149	藤枝市史研究 第11号	¥ 810	2010	90	B5	206 g	泉井園且松宛書簡について一対山・完楽・千代丸たちとの交流一、藤枝防空監視哨資料による警戒警報・空襲警報発令・解除一覽、米軍資料『作戦任務報告ミッションNo.18』と1945年1月9日藤枝空襲、心岳寺祠堂帳について、ここまでわかった古代の藤枝	
158	藤枝市史研究 第12号	¥ 1,020	2012	160	B5	340 g	学習会報告「『藤枝市史』通史編上刊行記念シンポジウム ふじえだ歴史発見」、「史料で読む戦国末期の藤枝」、「志太地域の古代氏族」をはじめ、論文・資料紹介など。平成21・22年度の市史編さん事業の成果を紹介。	
161	藤枝市史研究 第13号	¥ 1,020	2013	130	B5	268 g	論文「藤枝宿の成り立ち」、調査報告「花倉城跡の測量調査」、学習会報告「『藤枝市史』通史編下刊行記念シンポジウム ふじえだ歴史再発見パート2」、「アジア・太平洋戦争下の藤枝」など、平成23・24年度の市史編さん事業の成果を紹介する最終号。	
142	駿河国鬼岩寺中世墓・中世～報告書	¥ 1,020	2008	108	A4	436 g	藤枝の古刹、鬼岩寺の境内に所在する中世石塔群の基礎資料の報告書。鬼岩寺の中世史や中世石塔の背後に潜む歴史的背景について考察している。	
159	藤枝市史叢書16『岡部宿杉山雑記』	¥ 820	2012	89	B5	314 g	岡部宿在住の杉山忠右衛門が宝暦4年(1754)から文化10年(1813)までの出来事を98項目にして記録した見聞録『杉山雑記』を初めて翻刻したもの。	
※重さは目安です。当日の気温・湿度他環境条件又は個体差によって誤差が生じる場合がございます。詳しくは郷土博物館までお問合せください。								
博物館年報・その他								
81	年報1	¥ 720	1989	100	B5	346 g	昭和62・63年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「舟葬考」、「木喰仏と像背銘」、「藤枝の裁許給図」を収録。	
82	年報・紀要2	¥ 1,020	1990	154	B5	520 g	平成元年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「青池の大蛇伝説をめぐって」、「消えゆく資料といまの意識と」、「志太地域における律令期須恵器について」を収録。	
83	年報・紀要3	¥ 1,020	1991	100	B5	342 g	平成2年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「水上池の悪龍退治伝説について」、「岡部町殿・西ノ平経塚出土の和鐘」を収録。	
84	年報4	¥ 1,020	1992	72	B5	256 g	平成3年度分の博物館事業等の報告書。	
85	年報5・紀要4	¥ 1,230	1993	104	B5	288 g	平成4年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「呪物・呪具論」を収録。	
86	年報6・紀要5	¥ 1,230	1994	94	B5	252 g	平成5年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「弥生中期の複線鋸刃文」、「駿河国神名帳の再評価」を収録。	
87	年報7・紀要6	¥ 1,230	1995	122	B5	356 g	平成6年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「朝比奈氏と岡部氏の先祖」を収録。	
88	年報8	¥ 1,020	1996	66	B5	194 g	平成7年度分の博物館事業等の報告書。	
89	年報9 附 10年のあゆみ	¥ 1,230	1997	80	B5	230 g	平成8年度分の博物館事業等の報告書。巻末に「博物館10年の歩み」を収録。	
90	年報10	¥ 1,020	1998	80	B5	228 g	平成9年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「熊沢本「駿河国神名帳」について」を収録。	
91	年報11・紀要8	¥ 820	1999	114	B5	318 g	平成10年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「志太地域における初期仏教の様相」、「藤枝市・清水寺の千手観音像懸仏について」を収録。	
92	年報12・紀要9	¥ 820	2000	102	B5	288 g	平成11年度分の博物館事業等の報告書。紀要には論文「志太郡と益津郡」を収録。	
94	年報14	¥ 720	2003	62	B5	188 g	平成13年度分の博物館事業等の報告書。	
95	年報15	¥ 720	2004	67	B5	216 g	平成14年度分の博物館事業等の報告書。	
96	年報16	¥ 720	2005	66	B5	210 g	平成15年度分の博物館事業等の報告書。	
97	年報17	¥ 720	2006	67	B5	208 g	平成16年度分の博物館事業等の報告書。	
98	年報18	¥ 510	2006	67	B5	216 g	平成17年度分の博物館事業等の報告書。	
30	テレホンカード「加藤まさを」	¥ 820	-	1	テレカ	4 g	藤枝市出身の叙情画家加藤まさをが大正12年に発行した「人形の墓」の扉絵として描いた「月の沙凩」の絵をテレホンカードにした。	在庫僅少
31	テレホンカード「軽便鉄道」	¥ 820	-	1	テレカ	4 g	藤相線は大正2年に開業。昭和23年には藤枝一袋井間が開通し、駿遠線と改称。一時は岡部から袋井まで全長64.6キロを結ぶ日本一長い軽便鉄道となったが、昭和45年に廃止となった。国鉄東海道本線をまたぎ榛原方面へと走る「軽便鉄道」をテレホンカードにした。	在庫僅少
116	ビデオ「岡野薫子の作品世界」	¥ 3,080	2001	36分	VHS	268 g	藤枝市出身の両親のもとに生まれた作家・岡野薫子の子ども時代から後年の著作活動へ入っていく軌跡や創作の原点を探るビデオ作品。自然と人の交流を基に生まれた文学作品についてその成り立ちを作家自身の語りで紹介し、また著作による挿絵や装幀をはじめ、そのほかの絵画作品も美しい映像で見ることが出来る。ハイビジョン作品。2002年教育映像祭・教養部門「優秀作品賞」を受賞。	